

都市再生整備計画(第3回変更)

座間北部地区

神奈川県 座間市

平成24年3月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	神奈川県	市町村名	座間市	地区名	座間北部地区	面積	390.7 ha
計画期間	平成 16 年度 ~ 平成 23 年度	交付期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度				

目標 大目標: 便利で安心して暮らせるやすらぎのあるまちづくり 目標1: 都市基盤の整備により、安全性、快適性の向上、円滑な地域交通の確保、公共交通の確保を図ります。 目標2: 地域防災施設の整備を進めるなど、防災対策の充実を図ります。
--

目標設定の根拠 まちづくりの経緯及び現況 <p>・当該地区は、座間市の北部に位置し、相模野台地の一角から座間丘陵にかけた地区で、相模が丘地域、相武台地域、緑ヶ丘地域と本市で最も人口が集中している地区となっています。</p> <p>・当該地区には、座間市地域防災計画により、地震災害発生時に備え広域避難場所が6箇所(うち1箇所は隣接する市外)、避難所が7箇所指定されており、物資、資機材、要員等の緊急輸送のための県指定の緊急輸送路である県道51号線の他に市指定の緊急輸送路が10路線指定されています。</p> <p>・相模が丘地域については、小田急小田原線の小田急相模原駅に隣接し、交通の利便性が高いことから、昭和40年代以降急速に住宅、工場等の開発が進み、その結果として人口急増を招き、本市の平均人口密度の2倍から3倍弱の人口集中地域となっています。 なお、小田急相模原駅周辺地区においては、平成17年度より優良建築物等整備事業として、相模が丘5丁目A街区が事業化され、引続きB、C街区についても共同化に向けて検討し、協議を進めています。</p> <p>・相武台、緑ヶ丘地域については、本市の中心に位置し、小田急小田原線の相武台前駅があり、バスの便も多く、通勤・通学など地域交通や商業の地域拠点として、人と車が混在する集積がみられます。 なお、当該地域では、自治会、商店会、老人クラブ連合会、社会福祉協議会、鉄道事業者、バス事業者、警察署、学校、県、市などが協働して平成16年1月に「相武台前駅周辺交通まちづくり研究会」を結成し、小田急線相武台前駅周辺地域の交通や道路に関する問題などについて、話し合いやまち歩きなどを行い、行政・警察等へ改善方法など具体的な提案がされています。その提案について、市では優先性等を考慮し順次道路等の改善を実施しています。</p>
課題 <p>・災害発生時の避難所としての小中学校の整備を喫緊の課題として進める必要があります。</p> <p>・地震発生時において、救援活動の根幹をなす緊急輸送路等が、その機能を発揮できるよう整備、点検しておく必要があります。</p> <p>・相模が丘地域では、人口急増により都市基盤整備が遅れ、狭い道路が非常に多く、安全面や利便性の面で課題となっています。</p> <p>・相武台地域では、人と車が集積する相武台前駅周辺地域の環境整備、交通網の整備等が課題となっています。</p>
将来ビジョン(中長期) <p>・相模が丘地域では、「便利でやすらぎのあるまち」を目指しています。</p> <p>・相武台地域では、「相武台の地名の由来を大切に、新しい時代に向かって、みんなが安心して楽しく日々を送れる住みよいまち」を目指しています。</p> <p>・緑ヶ丘地域では、「誰もが健康で、やすらぎとるおい、ふれあいのある夢のまち」を目指しています。</p>

目標を定量化する指標								
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値		目標年度
					基準年度			
道路の整備状況満足度	%	市民意識調査により、道路の整備状況について「満足」「まあ満足」と答えた市民の割合	交通の安全性、歩行者の快適性の向上を、当該地区の市民意識調査での道路の整備状況について「満足」「まあ満足」と答えた市民の割合を1.5倍増加させることを目標とする。	10.7	平成16年度	16		平成23年度
防災対策満足度	%	市民意識調査により、地震や火災に対する安全性について「満足」「まあ満足」と答えた市民の割合	防災対策の充実を、当該地区の市民意識調査での地震や火災に対する安全性について「満足」「まあ満足」と答えた市民の割合を1.5倍増加させることを目標とする。	11.8	平成16年度	18		平成23年度
道路の安全、快適性の向上度	%	まちづくりのための市民アンケートによる「安全、快適な道路になってきている」と感じる市民の割合	交通の安全性、歩行者の快適性の向上を、当該地区のまちづくりのための市民アンケート調査での「安全、快適な道路になってきている」と感じる市民の割合を5ポイント増加させることを目標とする。	23.5	平成18年度	28.5		平成23年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(都市基盤の整備促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民の交通の安全性、快適性を高めるため、また災害時の安全な避難経路の確保や物資、資機材、要員等の緊急輸送に備え、生活道路の拡幅改良工事、交差点改良工事、歩道改善工事、バリアフリー化歩道改善工事を実施する。 市役所までのアクセス不便地域を解消し、市民の社会参加を活発化するため、コミュニティバスの試験運行を実施する。 	<p>市道7号線道路改良事業、市道50号線道路改良事業、市道8号線道路改良事業、市道相模が丘129号線道路改良事業(小規模交差点改良)、市道6号線道路改良事業(歩道改良)、市道30号線道路改良事業(バリアフリー化歩道改善)、市道17号線道路改良事業(歩道改善)、市道相模が丘83号線道路事業、コミュニティバス運行事業</p>
<p>整備方針2(地域防災対策の充実)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域防災施設である避難所としての小中学校の屋内運動場について、耐震化工事を実施し、避難所機能の確保を図る。 地震防災緊急事業対策として耐震性貯水槽を設置し、火災発生時に迅速に対応することで、市民の生命を守り、被害を最小限に留めるよう図る。 地震発生時において、被災した市民の救出活動用及び避難者が発生した際に使用する資機材の保管場所を整備し、有事に備えた体制を整備する。 	<p>相模が丘小学校屋内運動場耐震化事業、相模中学校屋内運動場耐震化事業、相模野小学校環境整備事業、相模が丘小学校環境整備事業、相模中学校環境整備事業 耐震性貯水槽整備事業、防災備蓄倉庫整備事業、防災無線(MCA無線)整備事業</p>
<p>その他</p> <p>○事業終了後の継続的なまちづくり</p> <p>相模が丘地域は、停滞する商店街の活性化、防災性能向上の観点から、地権者からの共同建替えを進め、平成17年度より一部地域について実施していますが、引き続き近隣周辺地域についても同様に促進する予定でいます。</p> <p>相武台地域においては、小田急相武台前駅周辺の交通や道路に関する問題などについて、話し合いやまち歩きなどを行い、行政・警察等への提案づくりを目的として、自治会、商店会、老人クラブ連合会、社会福祉協議会、鉄道事業者、バス事業者、警察署、学校、県、市などが協働して平成16年1月に「相武台前駅周辺交通まちづくり研究会」を結成しています。現在では、その提案に対する進捗状況について協議するとともに、市道5号線の整備に特化した作業部会を設置するなど、積極的、活発なまちづくりのための活動をしており、今後においても当該地域の継続的なまちづくりに貢献していく予定です。</p> <p>○街並み形成の誘導を図るための方策について</p> <p>平成17年度に景観地区についての庁内プロジェクトチームによる検討を実施し、平成18年度には外部委員による景観計画検討会議を発足し、景観計画及び景観条例の骨子を検討し、条例化を目指し準備を進めています。</p> <p>○交付期間中の計画の管理について</p> <p>まちづくり交付金に関する委員会を設置し、目標達成に向けた交付期間中における効果的な各事業の展開について、評価や方法等の改善などモニタリングを行います。</p>	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	405	交付限度額	162	国費率	0.4
---------	-----	-------	-----	-----	-----

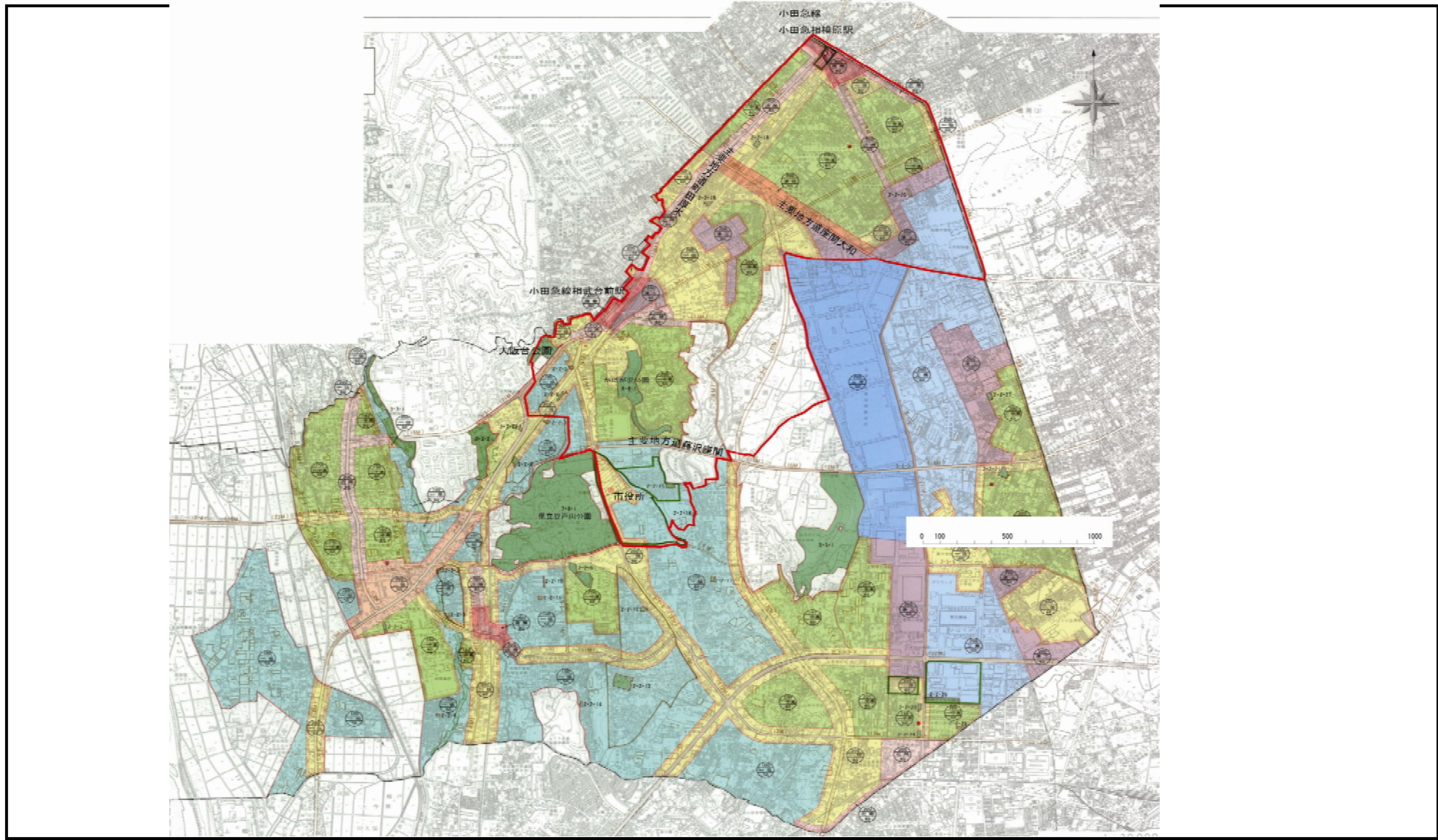
(金額の単位は百万円)

事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
細項目	開始年度					終了年度	開始年度	終了年度						
基幹事業														
道路		市道6号線	座間市	直	591 m	H18	H23	H19	H23	120	41	41	0	41
		市道7号線	座間市	直	4 m	H17	H23	H23	H23	148	3	3	0	3
		市道8号線	座間市	直	40 m	H18	H23	H19	H23	155	108	108	0	108
		市道11号線	座間市	直	180 m	H19	H19	H19	H19	8	5	5	0	5
		市道17号線	座間市	直	60 m	H21	H21	H21	H21	5	3	3	0	3
		市道30号線	座間市	直	300 m	H20	H23	H20	H20	4	1	1	0	1
		市道33号線	座間市	直	120 m	H23	H23	H23	H23	7	5	5	0	5
		市道50号線	座間市	直	290 m	H19	H23	H19	H20	120	100	100	0	100
		市道相模が丘83号線	座間市	直	350 m	H23	H23	H23	H23	14	8	8	0	8
		市道相模が丘95号線	座間市	直	90 m	H20	H20	H20	H20	6	6	6	0	6
		市道相模が丘129号線	座間市	直	365 m	H20	H22	H22	H22	10	6	6	0	6
		市道相模が丘172号線	座間市	直	250 m	H20	H20	H20	H20	4	4	4	0	4
		市道相武台22号線	座間市	直	85 m	H21	H21	H21	H21	2	2	2	0	2
		市道相武台35号線	座間市	直	140 m	H20	H21	H21	H21	5	3	3	0	3
		市道緑ヶ丘87・89号線	座間市	直	130 m	H21	H21	H21	H21	3	3	3	0	3
地域生活基盤施設														
地域防災施設														
		相模が丘小学校屋内運動場	座間市	直	853 m ²	H17	H20	H19	H20	39	16	16	0	16
		相模中学校屋内運動場	座間市	直	1,203 m ²	H17	H22	H20	H22	11	6	6	0	6
		MCA無線(防災無線)	座間市	直	8箇所	H18	H19	H19	H19	7	1	1	0	1
		防災備蓄倉庫	座間市	直	3箇所	H19	H21	H19	H21	3	3	3	0	3
		耐震性貯水槽	座間市	直	2箇所	H20	H23	H20	H23	26	19	19	0	19
合計										697	343	343	0	343
提案事業														
地域創造支援事業	学校環境整備事業	相模野小学校	座間市	直	公共下水道接続敷地面積17,901m ²	H17	H21	H20	H21	49	14	14	0	14
		相模が丘小学校	座間市	直	屋内運動場853m ²	H19	H20	H19	H20	39	30	30	0	30
まちづくり活動推進事業	社会実験	コミュニティバス	座間市	直	3路線	H16	H22	H19	H22	18	18	18	0	18
合計										106	62	62	0	62
												合計(A+B)	405	

(参考)関連事業					(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
(都)相模原二ツ塚線道路事業	相模が丘5・6丁目	神奈川県	国土交通省	1740m		○			h7	h24	9,000
市道5号線改良事業	市道5号線	座間市	国土交通省	540m		○			h17	h22	1,174
優良建築物等整備事業	相模が丘5丁目A街区	神奈川県 座間市	国土交通省	0.2ha		○			h17	h20	3,259
優良建築物等整備事業	相模が丘5丁目B街区	神奈川県 座間市	国土交通省	0.2ha		○			h20	h23	2,965
合計											16,398

都市再生整備計画の区域

座間北部地区(神奈川県座間市)	面積 390.7 ha	区域 相模が丘、相武台、緑ヶ丘、広野台1丁目、栗原
-----------------	----------------	------------------------------



座間北部地区(神奈川県座間市) 整備方針概要図

目標	便利で安心して暮らせるやすらぎのあるまちづくり	代表的な指標	道路の整備状況満足度 (%)	10.7 (16年度)	→	16 (23年度)
			防災対策満足度 (%)	11.8 (16年度)	→	18 (23年度)
			道路の安全、快適性の向上率 (%)	23.5 (18年度)	→	28.5 (23年度)

